



市川児童相談所

小杉 佐紀

平成27年度入庁

Q 1 現在はどんな仕事をしていますか。また、現在の仕事のやりがいや魅力、印象に残っていることなどを教えてください。

児童相談所で児童心理司として子どもに関する相談に応じています。心理検査や面接などを通じて、子どもの特徴や子どもに起こっている問題を把握し、その解決に向けて、保護者など周囲の大人に働きかけをしています。

子どもの気持ちに寄り添うことができ、安心してもらえたときや、保護者が子どもを理解しようと一緒に考え、より良い対応を模索し、実行されることで子どもが自分に自信を持てたときなど、やりがいを感じます。

Q 2 千葉県を志望した理由を教えてください。

児童期を千葉県で過ごしたこともあり、自分がたくさんの愛情を持って地域の大人に支えられていたという実感や、千葉県は都心に近く過ごしやすいという印象がありました。元々児童相談所での勤務を希望していたため、自分が地域で支えられたように、千葉県の子どもたちを地域の関係機関と協力してサポートしていきたいと思ったからです。

Q 3 「心理職」として働く上で、心がけていることや大切なことは何ですか？

保護者が子どもに伝えたいメッセージを子どもが違った捉え方をしていたり、反対に子どもが伝えたいメッセージが言葉通りではなく保護者も混乱したり、お互いの認識のずれから衝突が起こることが多くあります。

その認識のずれを修復し、互いに過ごしやすくなるよう、時には保護者に子どもの気持ちを代弁するほか、子どもの状態をわかりやすく伝えられるよう心がけています。

Q 4 今後どのように働いていきたいですか。目標や、取り組んでみたい仕事など教えてください。

今後も児童相談所という現場で子どもの支援に携わっていきたいです。様々な相談に応じる経験を積んで心理職としての専門性を高め、子どもが安心して生活していけるよう、子どもや保護者などの関係する大人に対してもわかりやすい支援を行っていきたいです。

Q 5 受験生へ一言

先輩達が一から教えてくれるので、不安に思う必要はありません。とてもやりがいのある仕事です。一緒に働けることを楽しみにしています。



異動経歴

H27年採用 東葛飾障害者相談センター
H29年 市川児童相談所